

～中央アジア・コーカサス地域の研修生が地すべり対策を見学～

7月5日(木)に中央アジア・コーカサス地域のJICA研修生、研修講師他、8名が長岡市山古志(旧山古志村)の芋川流域の災害復旧箇所を見学し、中越大震災の被災状況や河道閉塞の対応などについて学びました。東竹沢地区の現場見学では、湯沢砂防スペシャルエンジニア(YSSE)の上原さんらが「河道閉塞の初期対応」などの説明を行いました。研修に来られた方は、防災行政を担当する行政官、研究官で、熱心に見学していました。また、木籠の水没家屋の見学も行い、「郷見庵」では、地元の「おばちゃん」達とふれあいました。

湯沢砂防事務所では、このような研修を今後も支援していきます。



東竹沢地区 河道閉塞現場の見学



東竹沢地区 河道閉塞説明パネル



木籠の水没した家屋の見学



地元の「おばちゃん」と国際交流